

## 藻類養殖情報（令和4年3月号）

令和4年3月8日発行

大阪府立環境農林水産総合研究所

水産技術センター

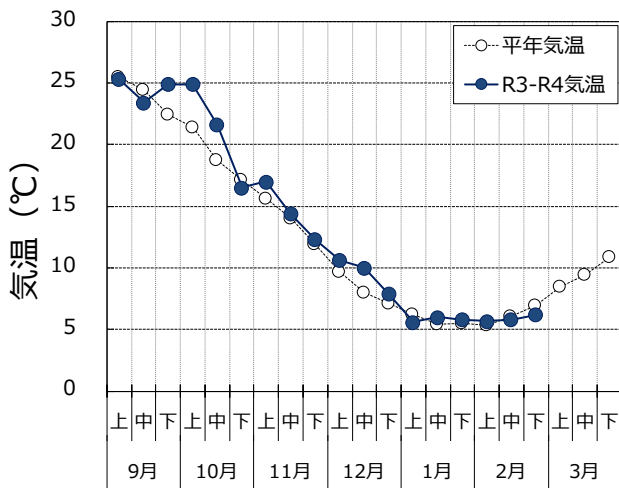
### ○漁場環境

- ・気温（谷川）：2月上・中旬はおおむね平年並み、下旬は0.8℃程度低めに推移しました。
- ・水温（谷川）：1月下旬から2月下旬にかけて5～10日間周期で水温が9～11℃台の範囲内で大きく変動し、2月下旬には平年よりも1.4℃程度低めになりました。

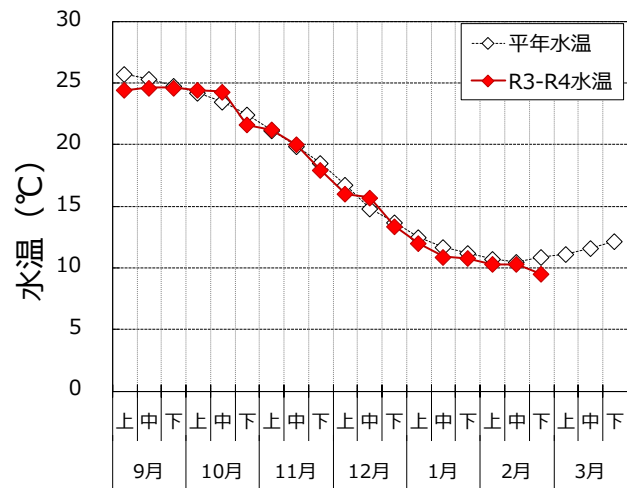
下記の水産技術センターホームページでも水温情報を毎日更新しておりますのでご利用下さい。

携帯電話でご利用の方は右のQRコードを読み取ってください。

URL：<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>



※平年値はH23～R2年度の平均



※平年値はH23～R2年度の平均

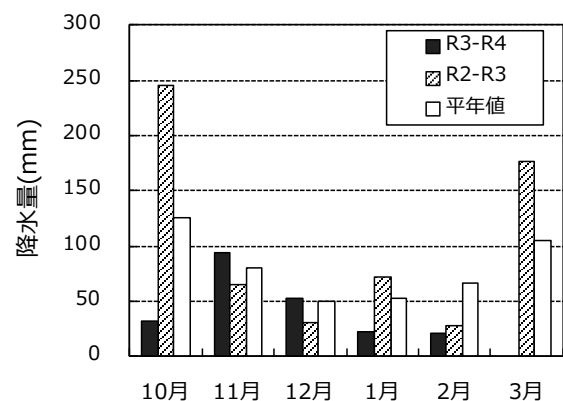
旬別気温・水温の推移（谷川地先9時）（平年値はH23～R2年度の平均）

- ・降水量（谷川）：2月の降水量は20.5mmとなり、平年の3分の1以下となりました。まとまった降水があった日が中旬の2日間だけと少なく、特に2月下旬には全く降水がありませんでした。

- ・今後の気温降水量予測（気象庁季節予報）

3月5日～4月4日の期間中には、寒気の影響を受けにくく平均気温は高く、降水量はほぼ平年並みと予報されています。

季節予報の詳細につきましては右のQRコードから気象庁ホームページをご確認ください。



降水量（谷川地先）  
（平年値はS47～H27年度の平均）

## ○漁場水質調査結果（2月28日採水）

- ・塩分：塩分は30.75～32.80でした。
- ・リン：濃度は0.14～0.65  $\mu\text{mol/l}$  で、岡田浦地区を除き全体的に低い状況でした。

ワカメ養殖：岡田浦を除くいずれの地区もかろうじてワカメの色落ち警戒濃度は上回っていますが、全体的に低い状況です。

ノリ養殖：尾崎では0.17  $\mu\text{mol/l}$ 、西鳥取では0.14  $\mu\text{mol/l}$  と両地区ともにノリの色落ち警戒濃度を大きく下回っています。

- ・窒素：濃度は0.36～9.26  $\mu\text{mol/l}$  で、岡田浦地区を除き全体的に極めて低い状況でした。

ワカメ養殖：岡田浦地区は9.26  $\mu\text{mol/l}$  とワカメ養殖にも問題のない濃度でしたが、他の各地区ではワカメの色落ち警戒濃度である2.0  $\mu\text{mol/l}$  を下回り、色落ちが生じる可能性があります。

ノリ養殖：尾崎では1.28  $\mu\text{mol/l}$ 、西鳥取では0.36  $\mu\text{mol/l}$  と両地区ともにノリの色落ち警戒濃度を大きく下回っています。

|                          | ワカメ | ノリ  |
|--------------------------|-----|-----|
| リン ( $\mu\text{mol/l}$ ) | 0.1 | 0.5 |
| 窒素 ( $\mu\text{mol/l}$ ) | 2   | 10  |

藻類色落ち警戒栄養塩濃度  
(この数値を下回ると色落ちの可能性あり)

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

| 漁場                       | 田尻    | 岡田浦   | 尾崎*   | 西鳥取*  | 下荘    | 谷川<br>(地先) | 谷川<br>(豊国崎) |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------------|
| 塩分 (psu)                 | 31.78 | 30.75 | 32.11 | 31.99 | 31.93 | 32.78      | 32.80       |
| リン ( $\mu\text{mol/l}$ ) | 0.19  | 0.65  | 0.17  | 0.14  | 0.25  | 0.29       | 0.29        |
| 窒素 ( $\mu\text{mol/l}$ ) | 1.15  | 9.26  | 1.28  | 0.36  | 1.15  | 1.71       | 1.69        |

\*尾崎・西鳥取地区にはノリ漁場があります。

## ○赤潮発生状況

2月28日・3月2日の海洋観測では大阪湾内の湾奥部に珪藻類を主体とした赤潮の発生が確認されました。最近の大阪湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい。

URL：<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html>



## ○養殖状況（2月28日）

ノリ：2月はじめは色落ちが生じていたものの2月中旬には色調が回復し板海苔の生産が行われました。2月下旬には再度強度の色落ちが生じ、2月末時点では板海苔の生産が中断されています。

ワカメ：各地区で生わかめの出荷が行われていますが、色落ちの生じている地区もあります。また、一部地区では塩蔵わかめ生産の準備が行われており近日中に開始される模様です。

## ○病害異常

海域全体で栄養塩の低い状況が確認され、ノリ、ワカメ共に強度の色落ちが生じる可能性が高い状況にあります。2月下旬の降雨量が少なく、河川からの栄養が漁場に供給されにくい状況にあったことが主要因と思われます。また、今後は水温が上昇に転じ、ワカメではえび（ヨコエビ類）の増加が見込まれますので、収穫のタイミングを十分に検討してください。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、随時検査します。